

ビジネスを効率化する情報収集 vol.5

データベース活用術

「新聞を教育に生かす」

新しい学習指導要領では、文章を読み解き、物事を判断する力を養うために、新聞の活用がポイントとされています。

静岡福祉大学では、小田部雄次教授(図書館長)の「日本現代文化論」で、新聞ニュースを理解し現代社会や文化を学ぶ講義を展開しています。現役記者による「新聞読み方講座」も開き、学生は紙面の基本的な構成や新聞原稿の書き方を学びました。講義を受けた学生の多くが、新聞を読む習慣が身につく、社会への視野を広げることができるようになったと語っています。

このほか、1年生を対象に図書館ガイダンスで、情報の効率的な検索を学ぶのを狙いに、データベースを活用する時間を設けました。

高校、大学では研究・就職活動の資料収集に、小中学校では地域の風土や歴史、時事問題を考える題材に。必要な記事は、静岡新聞データベースplus日経テレコン21で検索すれば、すぐに閲覧できます。



- 企画展「教科書から見る時代～稲むらの火からのメッセージ」の展示の様子。稲むらの火に関する貴重な資料が並ぶ(右上写真)
- 企画展のオープニングイベントで、焼津の浜言葉版紙芝居「津波だ! いなむらの火をけすな」を上演する学生(左上写真)
- データベースを利用する進藤さん(下写真)

静岡福祉大学 新聞記事検索システムの活用事例

今年、「静岡新聞データベースplus日経テレコン21」を導入しました。図書館の主な業務の1つが「レファレンス」。学生のレポート作成や就職活動等で必要となる情報の提供・支援です。そこで学生には「情報源」となるデータベースの活用を積極的に勧めています。学生がレポート作成のために資料を求めてくる場合、1つのキーワードに対して、瞬時に静岡・日経両紙の記事を一括検索できます。多くの記事を読み比べて取捨選択できる上、1カ月前や1年前の情報をさかのぼれるので物事の経緯もつかめます。「新聞の情報は役立つという意識が高まった」「以前より紙面に目を通し、関心事を探すようになった」という学生からの声をよく聞くようになりました。

静岡福祉大学附属図書館係長 進藤令子さん

今年、「静岡新聞データベースplus日経テレコン21」を導入しました。図書館の主な業務の1つが「レファレンス」。学生のレポート作成や就職活動等で必要となる情報の提供・支援です。そこで学生には「情報源」となるデータベースの活用を積極的に勧めています。学生がレポート作成のために資料を求めてくる場合、1つのキーワードに対して、瞬時に静岡・日経両紙の記事を一括検索できます。多くの記事を読み比べて取捨選択できる上、1カ月前や1年前の情報をさかのぼれるので物事の経緯もつかめます。「新聞の情報は役立つという意識が高まった」「以前より紙面に目を通し、関心事を探すようになった」という学生からの声をよく聞くようになりました。

※稲むらの火 1854年、安政南海地震で紀州藩広村(現・和歌山県広川町)が大津波に襲われた際、実業家浜口梧陵がわらに火を放ち、暗がりでは逃げ惑う村人を高台に誘導し、大津波から人々を救ったという実話に基づく物語。64年ぶりに小学国語の教科書に掲載された。

私たちの仕事 Our work



口ノ町康夫 学長

静岡福祉大学は21世紀の福祉社会の実現を目指して、2004年に開学した県下唯一の福祉系総合大学です。来年度より保育士養成課程を設置することで、乳幼児から高齢者までの幅広い福祉にたずさわる人材養成に全力を挙げていきます。

地域福祉の充実に

福祉政策、福祉教育、ボランティア活動など地域福祉の充実に教職員、学生が一体となって行っている活動において、県下の福祉活動の動きを把握するために、静岡新聞データベースplus日経テレコン21を有効活用しています。

[当サービスのご利用について] 静岡新聞データベースplus日経テレコン21は、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。[利用料金] サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額基本料金のほかご契約プランによっては、検索・出力した利用に応じた情報利用料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン21

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9187 (月曜～金曜 9:00～19:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

<http://www3.shizushin.com/dbplus/>